

宮越家離れ庭園「詩夢庵」秋公開1泊2日



旅行期間:2025年11月1日(土)～2日(日)

津軽の美しい景色とともに先人たちの物語をつないで津軽半島をご案内します！

スタンドグラス作家・小川三知の「最高傑作」と評価される作品3点が残る中泊町「宮越家」を訪ねます。
宮越家所蔵「春景花鳥図」とイギリスの大英博物館所蔵「秋冬花鳥図」が対であると話題に
「秋冬花鳥図(複製)」の二つの襖絵を並べて特別展示されています。

日付	行 程	食事
11/1 (土)	12:30 貸切バス 12:50 青森駅前交番 == 新青森駅東口 == 13:00～14:20 北洋硝子「津軽びいどろ」工場見学 == 15:40 青函トンネル記念館「青函トンネル竜飛斜坑線 もぐら号」#### 体験坑道駅 == 16:40 ホテル竜飛	朝× 昼× タ○
11/2 (日)	08:30 貸切バス ホテル == 龍飛岬 == 中泊博物館 == 13:30～14:30 宮越家離れ「詩夢庵」秋公開 == 中泊町特産物直売所「ピュア」 == かなぎ元気村かだるべえ「旧傍島家」(昼食) == 芦野公園 15:04 津軽鉄道 15:30 芦野公園駅 ##### 津軽五所川原駅・・・でる・そーれ == 16:50 新青森駅 == 17:10 青森駅	朝○ 昼○ タ×

- 旅行代金:1名1室66,000円(税込)、2名1室お1人様55,000円(税込)、3～4名1室お1人様50,000円(税込)
- 宿泊先:ホテル竜飛 ご夕食は大漁舟盛膳
- 代金に含まれるもの:行程表内の貸切バス、宿泊費(1泊)、食事3回、入館料、津軽鉄道運賃、津軽びいどろ土産、添乗料
- 添乗員:同行します。 ■ 募集人員:20名様(最少催行人員10名)
- 利用バス:三八五バス ■ 締切日:2025年10月10日(金)

株式会社また旅くらぶ

青森県知事登録旅行業第2-160号
(一社)全国旅行業協会会員
国内旅行業務取扱管理者 高木 まゆみ

TEL:017-752-6705 FAX:017-752-6704

E-mail:info@matatabi-club.com
〒030-0945青森市桜川3丁目12-8(また旅はうす1F)
《営業時間 午前10時から午後4時 休業日/土日祝日》



旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。



← 契約の内容・条件は、募集広告に記載されている条件の他、標準旅行業約款に基づいております。左QRコードリンク先の「募集型企画旅行契約の部」を必ずご確認ください。

津軽半島・最北端の宿「ホテル竜飛」宿泊プラン「宮越家離れ庭園」詩夢庵」秋公開」1泊2日

【ツアーのポイント】

◎北洋硝子「津軽びいどろ」

昭和24年に漁業用の浮玉製造から始まったガラス工房・北洋硝子「津軽びいどろ」の歴史と職人の技をご覧ください。



◎津軽海峡が一望できる 津軽半島・最北端の宿「ホテル竜飛」

「津軽海峡冬景色」で有名な風の岬・龍飛崎のすぐ近くにあります。大浴場からは津軽海峡を一望でき、晴の日は北海道を望むことができます。ホテルの真下に青函トンネルが通っていて新幹線が通過するとロビーの照明が七色に光ります。



◎宮越家離れ庭園「詩夢庵」秋公開の最終日です。

大正9年に夫人イハに贈った、宮越家離れ「詩夢庵」のステンドグラスと襖絵を鑑賞します。宮越家の心すま絵がイギリスの大英博物館の所蔵品と対であると判明し、大英博物館所蔵の複製品を並べ、二つの襖絵をご覧ください。



◎古民家で津軽を味わい、津軽の風景を楽しむ

- ・明治4年に建てられた古民家・旧傍島家(太宰治の叔母の家)で郷土料理をいただきます。
- ・昭和5年開業の津軽鉄道に乗って津軽の秋の景色をお楽しみください！

